

令和5年度 音楽 I シラバス

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽 I	2単位	普通科/園芸科・1学年

学習の到達目標	・音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
教科書 副教材等	音楽 I Tutti(教育出版) Music Note ・つどい 高校生の歌集(九州高等学校音楽教育研究会) ・その他

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	歌声を響かせよう	校歌 君に届くまで	・校歌の歌詞を覚えて歌えるようにする。
	5	6	イタリアの民謡や歌	我が太陽 Santa Licia	・イタリア語の言葉の特性と旋律やリズムに感心を持ち、言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら歌う表現力を身に付ける。
	6	8	郷土の音楽	三線 涙そうそう/安波節	・三線の基本的な奏法を身につけ、郷土の音楽への関心を高める。
	7	6	総合芸術	オペラ座の怪人 魔笛	・音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかを考える。
2	9	8	世界のさまざまな音楽	さまざまな音楽(声) 世界の声の音楽	・諸民族のさまざまな声の音楽から音楽表現の多様性を知り、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。
	10	8	混声合唱を美しく響かせよう	合唱曲	・混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。
	11	8	音楽史	西洋音楽史/日本音楽史	・西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。
	12	6	交響曲の魅力	交響曲第9番	・オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを味わいながら聴く。
3	1	4	アンサンブルを楽しもう	Happy birthday to you クラッピングカルテット	・リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を創意工夫する。
	2	6	コンサートを開こう	ソロやアンサンブル 任意の楽曲	・既習楽曲や新たに取り組む楽曲を発表する。
	3	4	学年のまとめ	学年の振り返り	・1年間の振り返りと反省を行い、次年度にいかす。

【評価の観点・方法】 授業の取組みを以下の観点で評価します。

I	知識・技能	課題・実技・ペーパーテスト
II	思考・判断・表現	課題・実技・ペーパーテスト
III	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・提出物・実技・ペーパーテスト

令和5年度 音楽Ⅱ シラバス

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽Ⅱ	2単位	普通科2学年

学習の到達目標	・音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
教科書副教材等	高校生の音楽2(音楽の友社) Music Note ・つどい 高校生の歌集(九州高等学校音楽教育研究会) ・その他

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	歌声を響かせよう	校歌 Tomorrow	・校歌を歌う。 ・親しみやすい楽曲を歌い、楽しみながら音楽活動への期待と学習意欲を高め
	5	6	日本歌曲	我は海の子 からたちの花	・日本語の抑揚や語感、歌詞、旋律の流れやフレーズ、曲想に関心を持ち、個性豊かに歌唱表現する技能を身につけ
	6	8	郷土の音楽 旋律をつくろう	三線 涙そうそう/安波節/安里屋ユンタ 琉球音階を用いた創作	・三線の基本的な奏法を身につけ、弾き歌いができる。 ・グループで創作し、演奏する。
	7	6	物語と音楽	キャッツより「Memory」	・物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考える。
2	9	8	交響曲	交響詩「ローマの松」 レクイエム(モーツァルト)	・オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題の展開されたり再現されるおもしろさを深く味わって聴く。
	10	8	混声合唱を美しく響かせよう	合唱曲	・混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。 ・個性豊かに歌唱表現を創意工夫す
	11	8	音楽史	西洋音楽史/日本音楽史	・西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。
	12	6	オーケストラの魅力	交響詩「ローマの松」	場面や物語を演出する音楽の効果、音楽に文化や絵画を結びつけた交響詩を、オーケストラの響きで味わおう。
3	1	4	クラスコンサートに向けて	ソロやアンサンブル 任意の楽曲	・既習楽曲や新たに取り組む楽曲を発表する。
	2	6			
	3	4	学年のまとめ	年間の振り返り	・各自の反省と課題をまとめる。

【評価の観点・方法】 授業の取組みを以下の観点で評価します。

I	知識・技能	課題・実技・ペーパーテスト
II	思考・判断・表現	課題・実技・ペーパーテスト
III	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・提出物・実技・ペーパーテスト

令和5年度 音楽Ⅲ シラバス

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽Ⅲ	2単位	普通科3学年

学習の到達目標	・音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
教科書副教材等	音楽Ⅲ(教育出版) Music Note ・つどい 高校生の歌集(九州高等学校音楽教育研究会) ・その他

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4 5 6 7	6	歌による表現力を身につけよう	Stand Alone/いい日旅立ち Blowin' In The Wind We Are The Champions	・曲想と歌詞の内容とのかかわりや、言語とリズムやフレーズとのかかわりなど、表現上の特徴
		8	表現のための技能を身につけよう	《50の小ソルフェージュ集》第1番 /女王のエチュード/発声練習/ソルフェージュ①②	・姿勢や体の使い方、呼吸法 ・旋律やリズムの聴き取り、模倣、読譜
		8	歌による表現力を身につけよう	浜辺の歌/砂山/初恋/霧と話した /ロマンチストの豚/Sento nel core/O del mio amato ben.../ ヴォカリーズ/An Silvia◇Sonntag	・独唱にふさわしい表現の工夫 ・歌と伴奏とのかかわり ・曲想と歌詞の表す心情とのかかわりや表現の特徴
		8	歌による表現力を身につけよう	宇宙戦艦ヤマト/You Raise Me Up/Ave Maria 鑑賞:《死んだ男の残したものは》 /モテット《アヴェ・マリア》	・各声部のかかわりや音の重なり、全体の調和 ・ポリフォニーやホモフォニーの表現効果 ・様々な表現形態による楽曲の特徴
2	9 10 11 12	14	器楽による表現力を身につけよう	The Pink Panther Theme 《3つのジムノペディ》第1番 鑑賞:《水上の音楽》 《展覧会の絵》	・各声部のかかわりや音の重なり、全体の調和 ・様々な表現形態、使用する楽器の音色や奏法などの特徴
		14	弾き歌いに挑戦しよう	めだかの学校/どんぐりころころ/ とんぼのめがね/いぬのおまわりさん/ やぎさんゆうびん	・弾き歌いしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現の工夫
		14	鑑賞力を伸ばそう	西洋音楽の鑑賞 世界の諸民族の音楽/伝統の中の新しい波『リバーダンス』	・音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわり ・生活や社会における音楽の役割
		12	表現意図をもって音楽をつくろう	ファンファーレをつくろう 「カンパネッラ」を使った音風景	・自分たちのイメージに基づきながら、様々な音素材の特徴を音楽表現に結び付ける工夫 ・反復、変化、対照などの構成を理解して、それらを用いる工夫
3	1 2	21	オペラ、オペレッタ、ミュージカルに親しもう	Nessun dorma!/メリー・ウィドウ・ワルツ/All I Ask Of You 鑑賞:オペラ《トランドット》 オペラ《トスカ》 オペレッタ《メリー・ウィドウ》 ミュージカル《オペラ座の怪人》	・オペラ、オペレッタ、ミュージカルの文化的、歴史的背景の理解とそれぞれの表現上の特徴 ・総合的な芸術表現における音楽的な要素とそれ以外の要素とのかかわり

【評価の観点・方法】 授業の取組みを以下の観点で評価します。

I	知識・技能	課題・実技・ペーパーテスト
II	思考・判断・表現	課題・実技・ペーパーテスト
III	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・提出物・実技・ペーパーテスト

令和5年度 音楽基礎 シラバス

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽基礎	2単位	園芸科3学年

学習の到達目標	・音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
教科書 副教材等	音楽 I Tutti(教育出版) Music Note ・つどい 高校生の歌集(九州高等学校音楽教育研究会) ・その他

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	スタート!	校歌	・校歌を覚える。
	5	8	声の世界	日本の歌 世界の歌	・豊かな歌声をつくるための発声法や言葉の特徴を生かした表現力を身に付ける。
	6	8	郷土の音楽	三線 涙そうそう/安波節 四季の歌	・三線の基本的な奏法を身につけ、郷土の音楽への関心を高める。
	7	6	舞台芸術の世界	ボレロ 『ライオンキング』	・オーケストラの作品やミュージカルを鑑賞し、場面に応じた音楽の効果や構造を知る。
2	9	8	民族音楽	世界の声 世界の楽器	・民族音楽の種類や歴史、文化的な背景を知る。
	10	8	混声合唱の響きを求めて	合唱曲	・全員で協力して作り上げる合唱の充実感を味わう。
	11	8	音楽史	西洋音楽史、日本音楽史 ポピュラー音楽	・西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。
	12	4	季節の音楽	ハンドベル Amazing grace	・年末に演奏される楽曲にふれ、音楽文化を知る。
3	1	10	アンサンブルの楽しみ コンサートを開こう	風になりたい、クラッピングカルテット ソロやアンサンブル、任意の楽曲	・リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫する。 ・既習楽曲や新たに取り組む楽曲を発表する。
	2	4	学年のまとめ	学年の振り返り	・1年間の振り返りと反省を行う。

【評価の観点・方法】 授業の取組みを以下の観点で評価します。

I	知識・技能	課題・実技・ペーパーテスト
II	思考・判断・表現	課題・実技・ペーパーテスト
III	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・提出物・実技・ペーパーテスト

令和5年度 保育ピアノ シラバス

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	保育ピアノ	2単位	普通科3学年

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なピアノの奏法を身につける。 ・簡易な楽譜やコードネームを読むことができる。 ・簡易な伴奏をしながら歌うことができる。 ・楽譜にコード付を行うことができる
教科書副教材等	ピアノの基礎テクニック ・保育ピアノの伴奏 ・その他

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	ピアノに慣れよう	基礎エクササイズ(長調)	・両手の指番号 ・長調のメロディーと和音
	5	8		基礎エクササイズ(短調) コード伴奏入門	・短調のメロディーと和音 ・コード進行(I、IV、V7)
	6	8	コード伴奏に挑戦	コード伴奏とメロディー	・簡易な楽曲をコードとメロディーで演奏
	7	6		任意の曲	・任意の曲を演奏
2	9	8	連弾、アンサンブル	連弾やアンサンブル	・人と合わせる感覚を身につける。
	10	8			
	11	8	弾き歌い	童謡・ポピュラーソング	・簡易な伴奏で弾き歌いができる。
	12	4			
3	1	10	自分で伴奏をつくろう	任意の楽曲	・任意の曲にコード付を行い演奏する。
	2	4	学年のまとめ	年間の振り返り	・各自の反省と課題をまとめる。

【評価の観点・方法】 授業の取組みを以下の観点で評価します。

I	知識・技能	課題・実技・ペーパーテスト
II	思考・判断・表現	課題・実技・ペーパーテスト
III	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・提出物・実技・ペーパーテスト

令和5年度 美術I シラバス

教科名〔芸術〕 科目名〔美術I〕 学年〔1年・普通科・園芸科〕

単位数〔2〕76時間 使用教科書〔美術I・日本文教出版〕

1 学習目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	授業内容	評価方法	時配
1 学期	4	オリエンテーション	全般	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。 ・評価の説明。		2
	5	色彩の基礎	表現	・色の分類や知覚の仕組み、色光と色料の3原色などの色彩の基本や、色同士の組み合わせによる色を与えるイメージの変化などを捉えることを理解している。	作品 授業 観察	12
	6 7	久米高祭のポスターデザイン	表現 デザイン	・伝達したいイメージなどを捉えてイラストや写真、文字の形や色、構成などの効果を理解している。 ・絵の具などの特性を生かし、計画を基に表現方法を創意工夫して表している。 ・作者の制作意図や表現の工夫を材料や技法から読み取り、グループでまとめ発表する。	作品 授業 観察 相互 評価	12 2
2 学期	9	鑑賞(折りの形)	鑑賞	・顔や手の表情、形や素材、空間などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉え、理解している。	授業 観察 作品	4
	10	鉛筆デッサン	表現 絵画	・素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。 対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表している。	授業 観察 相互 評価	16
	11	卒業壁画	表現	・伝達したいイメージなどを捉えてイラストや色、構成など		

	12		デザイン	の効果を理解している。 ・ステンドグラスの特性を生かし、計画を基に表現方法を創意工夫して表している。	作品 授業 観察 相互 評価	15
3 学 期	1	写真表現	表現 デザイン	・映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ・目的や条件などを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表現している。	作品 自己 評価 相互 評価	12
	2					
	3	学習のまとめ	全般	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	自己 評価	1

3 評価の観点、内容及び評価方法

知識・技能	① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているか ② 示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、制作意図や表現に合わせた工夫をしているか。
思考・判断・表現	①感性を働かせて、対象をよく観察し、自分の目で見て、感じたものを創造につなげようとしているか。 ②物事に対して新しい発見をしようという姿勢や、独創的な考え、柔軟な考え方で表現の工夫をしようとしているか。
主体的に学習に取り組む態度	①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②個性を生かして表現方法を工夫し、主体的に制作に取り組んでいるか。
<p>以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。</p> <p>①学習の取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。</p> <p>②制作した作品（完成度、自己評価、制作意図など）</p> <p>③鑑賞プリント（作品分析、比較、批評、自己の考えなど）</p>	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思いませんか？美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりことで、豊かな心や感性や、創造的な表現技能と発想力を身につけることができます。

自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。

令和5年度 美術Ⅱ シラバス

教科名〔芸術〕 科目名〔美術Ⅱ〕 学年〔2年・普通科〕
 単位数〔2〕76時間 使用教科書〔美術Ⅱ・日本文教出版〕

1 学習の目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	授業内容	評価方法	時配
1 学期	4	オリエンテーション	全般	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。 ・評価の説明。	作品 授業 観察 相互 評価 作品	2
	5	人物画	表現 絵画	・動きや仕草、表情、人と人との関係性、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 ・人物の性格や人柄、印象などを基に、色彩や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞する。		12
	6 7	久米高祭のポスターをデザインする	表現 デザイン	・伝えたい内容を、イラストや写真と文字などを組み合わせてポスターを表現する。 ・作者の制作意図や表現の工夫を材料や技法から読み取り、グループでまとめ発表する。		12
2 学期	9	私だけの美術展	鑑賞	・日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	作品 授業 観察 相互 評価 作品	4
	10	キャラクターのデザイン		・伝えたいイメージなどを捉えてイラストや写真、文字の形や色、構成などの効果を理解している。 ・絵の具などの特性を生かし、計画を基に表現方法を創意工夫して表している。		12
	11	アニメーション	映像 メデ	・映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに	12	

	12	卒業壁画	イア 表現 鑑賞 表現 デザ イン	ついて考え、見方や感じ方を深めている。 ・目的や条件などを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表現している。 ・伝達したいイメージなどを捉えてイラストや色、構成などの効果を理解している。 ・ステンドグラスの特性を生かし、計画を基に表現方法を創意工夫して表している。	観察 相互 評価 作品 授業 観察 相互 評価	12
3 学 期	1	デザイン島ぞうり	表現 デザ イン	・伝統工芸の美意識や特質について理解している。 ・使う人や場面、デザインの目的や条件、機能や用途、美しさなどを考えて表している。	作品 授業 観察 相互 評価	13
	2					
	3	学習のまとめ	全般	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	自己 評価	1

3 評価の観点、内容及び評価方法

知識・技能	① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているか 示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、制作意図や表現に合わせた工夫をしているか。
思考・判断・表現	①感性を働かせて、対象をよく観察し、自分の目を見て、感じたものを創造につなげようとしているか。 ②物事に対して新しい発見をしようという姿勢や、独創的な考え、柔軟な考え方で表現の工夫をしようとしているか。
主体的に学習に取り組む態度	①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②個性を生かして表現方法を工夫し、主体的に制作に取り組んでいるか。
以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。 ①学習の取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。 ②制作した作品（完成度、自己評価、制作意図など） ③鑑賞プリント（作品分析、比較、批評、自己の考えなど）	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思いませんか？美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりことで、豊かな心や感性や、創造的な表現技能と発想力を身につけることができます。

自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。

令和5年度 美術Ⅲ シラバス

教科名〔芸術〕 科目名〔美術Ⅲ〕 学年〔3年・普通科〕
 単位数〔3〕 105時間 使用教科書〔美術Ⅲ・日本文教出版〕

1 学習の目標

- ①美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- ②対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- ③自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術のかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	指導内容	評価方法	時配
1 学期	4	オリエンテーション	全般	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。 ・評価の説明。		1
	5	基本練習	全般	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する。	作品 授業観察	7
	6	グラフィックデザイナー	表現 鑑賞 デザイン	・伝えたい内容を、イラストや写真と文字などを組み合わせてポスターを表現する。 ・作品の特徴を理解し、作者の意図や工夫を読み取りワークシートにまとめる。	作品 授業観察 自己評価 相互評価	2 2
	7					
2 学期	9	彫刻家	表現 鑑賞 彫刻	・表情や動きなどを感じ取り、生命感や存在感、のある立体で表現する。 ・グループで調べ学習を行い、レイアウトやレタリングを意識した表現でまとめ発表する。	作品 授業観察	2 6
	10					
	11	絵本画家	表現 鑑賞 絵画	・言葉と絵を組み合わせて紙芝居として表現する。 ・読み聞かせ会を行い、感想をまとめる。	作品 授業観察 自己評価 相互評価	2 8
	12					

3 学 期	1	写真家	表現 鑑賞 映像メ ディア表現 全般	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。 ・撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。 ・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。 	作品 授業観察	20
	2	学習のまとめ				
	3					

3 評価の観点、内容及び評価方法

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①美術作品や作者、歴史について幅広く理解しようとし、その良さや美しさを味わうことができる。 ②自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。 ③示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、自分の作品のイメージにあった表現方法に合わせて工夫をしている。 ④自分の作品のイメージにあった表現方法や着色の方法を工夫することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①感性を働かせて、対象をよく観察し、自然や造形の良さや美しさを感じ、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫している。 ②自然や造形の良さや美しさを感じ、個性豊かに発想し、創造的に表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②表現の主題に関心を持ち、意欲的、主体的に取り組む表現の楽しさや喜びを感じることができる。
<p>以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習に取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。 ②制作した作品（完成度、自己評価、制作しての感想など） ③鑑賞プリントの内容 	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思っていませんか。美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で思ったように表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、美術が好きになり、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりする中で、豊かな心や感性をもち、創造的な表現技能と美的直感力や創造的発想力を身につけることができます。

いろいろやってみる中で、自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。

令和5年度 美術基礎 シラバス

教科名〔芸術〕 科目名〔美術基礎〕 学年〔3年・園芸科〕 単位数〔2〕 70時間

1 学習の目標

- ①基礎的な技術力と表現力を中心として、創造的な表現の楽しさを学ばせる。
- ②自分の心に描いたイメージを絵画、彫刻、デザインを通して、美的直感力や創造的な発想力、構想力を一層伸ばし、創造的に表現する。
- ③美術作品のよさや美しさ、作者の心情や表現意図、現代の美術や伝統的な美術及び地域の美術の特質などを感じ取ったり、理解したりして、感性や美術を愛好する心情を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	授 業 内 容	評価方法	時配
1 学 期	4	オリエンテーション	全般	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。 ・評価の説明。	作品 授業観察 作品 授業観察 自己評価 相互評価	1
	5	基本練習	全般	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する。		3
	6	希望をかたちに	表現 鑑賞 デザイン	・伝えたい内容を、イラストや写真と文字などを組み合わせてポスターを表現する。 ・作品の特徴を理解し、作者の意図や工夫を読み取りワークシートにまとめる。		2 4
	7					
2 学 期	9	日常を写す	表現 鑑賞	・個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。 ・撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。	作品 授業観察 自己評価 相互評価	5
	10		映像メディア表現			
	11	想像する力	表現 鑑賞 絵画	・デカルコマニーなどのモダンテクニックの技法を習得し絵画の制作にいかす。 ・感じたことや考えた事を文字でまとめ発表する。	作品 授業観察 自己評価 相互評価	2 3
	12					
3 学 期	1	食べ物をつくる	表現 彫刻 鑑賞	・美と用の観点を意識しながら樹脂粘土を用いて立体を制作する。 ・用途の視点から意見や感想をまとめる。	作品 授業観察	1 3
	2					
	3	学習のまとめ	全般	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	自己評価 相互評価	1

3 評価の観点、内容及び評価方法

知識・技能	①美術作品や作者、歴史について幅広く理解しようとし、その良さや美しさを味わうことができる。 ②自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。 ③示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、自分の作品のイメージにあった表現方法に合わせて工夫をしている。 ④自分の作品のイメージにあった表現方法や着色の方法を工夫することができる。
思考・判断・表現	①感性を働かせて、対象をよく観察し、自然や造形の良さや美しさを感じ、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫している。 ②自然や造形の良さや美しさを感じ、個性豊かに発想し、創造的に表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②表現の主題に関心を持ち、意欲的、主体的に取り組む表現の楽しさや喜びを感じることができる。
以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。 ①学習に取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。 ②制作した作品（完成度、自己評価、制作しての感想など） ③鑑賞プリントの内容	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思っていないですか。美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で思ったように表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、美術が好きになり、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりする中で、豊かな心や感性を持ち、創造的な表現技能と美的直感力や創造的発想力を身につけることができます。

いろいろやってみる中で、自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。

令和5年度 美術総合 シラバス

教科名〔芸術〕 科目名〔美術総合〕 学年〔3年・普通科〕 単位数〔2〕 70時間

1 学習の目標

- ①基礎的な技術力と表現力を中心として、創造的な表現の楽しさを学ばせる。
- ②自分の心に描いたイメージを絵画、彫刻、デザインを通して、美的直感力や創造的な発想力、構想力を一層伸ばし、創造的に表現する。
- ③美術作品のよさや美しさ、作者の心情や表現意図、現代の美術や伝統的な美術及び地域の美術の特質などを感じ取ったり、理解したりして、感性や美術を愛好する心情を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	授 業 内 容	評価方法	時配
1 学 期	4	オリエンテーション	全般	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。 ・評価の説明。	作品 授業観察 作品 授業観察 自己評価 相互評価	1
	5	基本練習	全般	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する。		3
	6	希望をかたちに	表現 鑑賞 デザイン	・伝えたい内容を、イラストや写真と文字などを組み合わせてポスターを表現する。 ・作品の特徴を理解し、作者の意図や工夫を読み取りワークシートにまとめる。		2 4
	7					
2 学 期	9	日常を写す	表現 鑑賞	・個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。 ・撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。	作品 授業観察 自己評価 相互評価	5
	10		映像メディア表現			
	11	想像する力	表現 鑑賞 絵画	・デカルコマニーなどのモダンテクニックの技法を習得し絵画の制作にいかす。 ・感じたことや考えた事を文字でまとめ発表する。	作品 授業観察 自己評価 相互評価	2 3
	12					
3 学 期	1	食べ物をつくる	表現 彫刻 鑑賞	・美と用の観点を意識しながら樹脂粘土を用いて立体を制作する。 ・用途の視点から意見や感想をまとめる。	作品 授業観察	1 3
	2					
	3	学習のまとめ	全般	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	自己評価 相互評価	1

3 評価の観点、内容及び評価方法

知識・技能	①美術作品や作者、歴史について幅広く理解しようとし、その良さや美しさを味わうことができる。 ②自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。 ③示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、自分の作品のイメージにあった表現方法に合わせて工夫をしている。 ④自分の作品のイメージにあった表現方法や着色の方法を工夫することができる。
思考・判断・表現	①感性を働かせて、対象をよく観察し、自然や造形の良さや美しさを感じ、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫している。 ②自然や造形の良さや美しさを感じ、個性豊かに発想し、創造的に表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②表現の主題に関心を持ち、意欲的、主体的に取り組む表現の楽しさや喜びを感じることができる。
以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。 ①学習に取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。 ②制作した作品（完成度、自己評価、制作しての感想など） ③鑑賞プリントの内容	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思っていないですか。美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で思ったように表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、美術が好きになり、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりする中で、豊かな心や感性を持ち、創造的な表現技能と美的直感力や創造的発想力を身につけることができます。

いろいろやってみる中で、自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。

令和5年度「実用の書」シラバス	単位数	2単位	
	使用教科書	書 I 38 光村 書 I 308	

1 学習の到達目標および評価方法等

学習到達目標	<p>1 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。</p> <p>2 書の良さや美しさを甘受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や釈迦を創造していく態度を養う。</p>
課題、提出物等	毎時提示された課題(作品等)を提出する。
評価方法	提出作品等。その枚数や内容を中心に用具用材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などをもとに総合的に評価する。
評価の観点	<p>①学習の取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。</p> <p>②制作した作品</p>

2 学習計画

(1) 学習計画等

月	時数	単元	主な学習内容・教材
4	6	導入	・オリエンテーション 「書」について
5	12	漢字の書	【楷書】・漢字の変遷と書体
6	8		【行書】・行書の基本
7	8		【草書】・「真草千字文」
9	6		【隸書】・「曹全碑」
10	6	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と種類 ・古筆に見る表現技法 ・基本的な筆使い ・平仮名 ・変体仮名
11	8		
12	6		
1	6	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書について
2			
3			